

2022年度 第7回 理事会議事録

日 時：2022年12月13日(火) 17:00～17:45

会 場：マルチアクセス貸会議室@アキバ

所在地：東京都台東区台東 2-7-4 和田ビル本館 402

出席者：宮城、高野、下口、津田、寶田、成定、荒井、中村、嘉成、杢保、谷、三志奈

欠席者：大澤、田島 (順不同敬称略、Web 参加含む)

議事に先立ち、本理事会は役員の過半数の出席を認め、成立する旨確認した。

議事進行は、宮城会長が担当した。

議題 I、前回議事録の確認

II、編集委員会からの報告

III、私立医科大学臨床検査技師会 40周年記念式典について

IV、2023年度の技師会活動について

1、2023年度基礎講座

2、2023年度日本医療検査科学会共催シンポジウム

3、2023年度学術集会

I、前回議事録の確認

異議なく本理事会にて承認された。

II、編集委員会からの報告

私立医科大学臨床検査技師会創立40周年記念誌(kameraden72号合併号)の内容や誤字等に関する修正は12月15日(木)まで可能であるため、期日内までに確認するよう編集委員長より指示があった。ページについてはコンテンツ毎にページ分けをせず、通し番号とすることを確認した。

招待者、寄稿者など会員以外の方に記念誌を渡すために、必要な部数の記念誌を予め会場に発送することは可能か会場に問い合わせる。会場には販売用(1000円)を含めて記念誌を50部程度発送、もしくは持参する予定。なるべく本人に配送するために、配送先のリストを用意することとした。

1月28日に会場の一部を使用して編集委員会を開催する予定である事を確認した。

III、私立医科大学臨床検査技師会 40周年記念式典について

理事会に先立ち担当理事が、記念式典の会場の広さ、LAN回線やWiFi環境などを確認し、式典会場として十分な設備を備えた会場であることを確認した。招待者は80名程度を予定しており、内訳は今年度賛助会員、私立医科大学病院中央検査部技師長会、現私立医科大学臨床検査技師会理事関係者、研修会参加者、招待者とした。記念式典はコロナウイルス市中感染を鑑み、内容を決定する事とした。(1月13日(金)開催の理事会にて最終的な判断を行う。)

40周年記念行事の研修会の司会進行は中村理事が担当することを確認した。

40周年記念誌の寄稿文を書いて頂いた方への謝礼としてクオカードを郵送する事とした。

IV、2023年度の技師会活動について

1、2023年度基礎講座

荒井理事に認定一般検査技師試験取得者へ講師依頼が可能か打診してもらったが、認定試験の出題傾向が判らないため、認定試験に特化した講習内容とすることは難しいとの事であった。高野理事より東京女子医科大学病院の技師から認定一般検査技師試験に関する講師依頼受諾の返答を得たとの報告があった。他にも、認定試験(認定血液検査技師試験など)に関する講習を引き受けてくれる演者をリクルートする事とした。

2、2023年度日本医療検査科学会共催シンポジウム

テーマについては今年度中に決定する予定のため、各理事とも2月の理事会までに各々最低1題はテーマを提案するよう会長より指示があった。今後、各理事から提案された意見について協議し、テーマを決定することとした。現時点では、「検査室の運営」、「技師の教育」、「医療安全」、「技師の評価方法」、「修士号や博士号の取得」などの案が挙げられている。

3、2023年度学術集会

2023年度学術集会は、私立医科大学病院中央検査部技師長会の開催に合わせて秋頃に実施する予定であることを確認した。テーマについては会長が方向性を示し、内容については学術担当理事が詰めることとした。

以上

連絡事項：次回2022年度第8回理事会は2022年1月13日(金)18:00からオンラインにて開催予定